

北陸道楽

NEXCO
中日本

Hokuriku Dou-Raku

Vol. 46

2026 夏

Summer

Hokuriku Driving Guide

シリーズ特集

「みち」が生む
にぎわいを
訪ねる旅 ④

Discover the Charm of
the Historic Kaido Roads

能登街道をめぐる いざ、祭りの国へ

福井・石川・富山の観光・グルメ情報

北陸道SA・PA INFORMATION

Access イラストマップ

表紙／あばれ祭（石川県能登町）

『北陸道楽』には、北陸地域で高速道路などの「道」を利用して、
気楽に観光地巡りを「楽」しんでいただきたいという願いを込めています。

「みち」が生むにぎわいを訪ねる旅 4

Discover the Charm of the Historic Kaido Roads

日本海に突き出た能登半島は、地元の人たちの熱い思いに満たされた“祭りの国”。山車きりここうろうの一種で直方体の切子灯籠を担ぐ「キリコ祭り」をはじめ、夏から秋にかけて能登一円では、毎日のように多彩な祭礼が執り行われています。古くから人々が行き交った能登街道に思いをはせながら、今も暮らしに根づく祭りとな登にふれる旅へと、車を走らせました。

Jutting into the Sea of Japan, the Noto Peninsula is a true “land of festivals,” filled with the heartfelt passion of its local people. From the Kiriko Festival, where participants carry towering cuboid-shaped lantern floats called kiriko, to the many other colorful celebrations held throughout the region, a rich variety of festivals takes place across Noto almost every day from summer through fall. Reflecting on the historic Noto-Kaido, along which people have traveled and connected to one another for centuries, we set out on a drive to discover the festivals that are deeply rooted in local life and to experience the spirit of Noto firsthand.

能登街道をめぐる いざ、祭りの国へ

Set Out for the Land of Festivals Along the Historic Noto Kaido

のと里山海道から
旅路はスタート！

金沢から能登半島に向かうには、自動車専用道路「のと里山海道」が便利です。道路名の通り、すぐ横に海岸線を眺めながら走ったり、緑豊かな里山の中を通り抜けたりと、「日本の道100選」に選ばれた風光明媚なドライブコースとなっています。ところどころで地震による工事が進められていますので、時間に余裕を持って安全運転を心がけてください。

のと里山海道

能登を楽しむ
ワンポイント！

今行ける能登に、
ぜひお越しください

(一社)能登半島広域観光協会
TEL 0768-26-2020
能登デスクInstagram: notodesk_official

能登半島広域観光協会ホームページ

今行ける能登の観光スポット
や観光・一般向け宿泊施設の
空室状況を掲載しています。



広報担当 中山 智恵子さん



能登街道

能登街道は北国街道の追分宿にあたる津幡宿(河北郡津幡町)を基点に能登へと続く道。今浜宿(羽咋郡宝達志水町)からは、邑知潟(羽咋市)の東側を通る「内浦街道」、半島の西側を経由した「外浦街道」に分かれており、それぞれの街道は海岸に沿って進み、能登半島の先端でつながっています。



邑知潟
内浦街道の西側にある邑知潟。この5月には本州初となるトキの放鳥が行われ、かつて能登の上空を舞った里山のシンボルが再びふるさとに戻ってきました。



津幡の石碑
津幡宿のあった津幡町には北国街道と能登街道の分岐を示す石碑が残っています。



白米千枚田
能登の里山里海のシンボルが白米千枚田(輪島市)。前田利家のころから開墾が始まったとされ、先人の苦勞と知恵が詰まった景勝地です。



小田中古墳群
内浦街道を挟み、東に親王塚古墳、西に亀塚古墳が向かい合う小田中古墳群(鹿島郡中能登町)。古くから街道を行き交う人々の標識代わりとなっていたそうです。

金沢から能登へ。 砂浜のドライブコース



※天候などの状況によって通行できない場合があります。
通行情報は「石川みち情報ネット」でご確認いただけます。

国内唯一、波打ち際を車で走る

金沢から能登に向かう際、ぜひおすすめしたいのが、「千里浜なぎさドライブウェイ」(羽咋郡宝達志水町今浜-羽咋市千里浜)です。北陸自動車道・金沢森本ICから車で約40分、能登と加賀を結ぶのと里山海道・今浜ICを下りた先に、全長約8kmにわたって、国内で唯一波打ち際を車で走行できるドライブウェイが現れます。潮風を感じながらの運転は爽快そのもの。能登へと向かう旅情をかき立ててくれます。



瑯山禪師開創の古刹



日本最大級のツーリングイベント「SSTR」のゴール地点

金沢から能登方面に走ると、千里浜なぎさドライブウェイの終着点にあるのが「能登千里浜レストハウス」。砂浜に面したウッドデッキからは日本海の大パノラマが広がっています。サザエや岩ガキなど鮮度抜群の魚介を楽しめる浜焼きコーナーや能登の特産がそろったおみやげコーナーも人気です。
能登千里浜レストハウス
羽咋市千里浜町4-1
TEL 0767-22-2141/Pあり



人気のいかだんご！

曹洞宗の太祖・瑯山紹瑾(けいざんじょうきん)禪師が、1312(正和元)年に開創した曹洞宗の古刹。階段を上った先にある山門をくぐると、静けさの中に凛とした雰囲気漂っています。永光寺は、33カ所あった能登国観音霊場の第十三番札所であり、江戸時代には多くの参拝者が能登街道を利用して各地の霊場を巡っていました。
洞谷山 永光寺(とうこくさん ようこうじ)
羽咋市酒井町11
TEL 0767-26-0156/Pあり



今昔の魅力がぎっしり詰まったストリート



手仕事で醸す醤油蔵



人気焼き鳥店の絶品ランチ



和ろうそくの伝統を今に

奥能登に向かう内浦街道にあった一本杉が目印となったことにちなみ、名付けられた一本杉通り。伝統的な家屋が残る町並みは地震で大きな被害を受けたものの、現在は再建工事が進められています。手仕事の醤油作りを徹底する「鳥居醤油店」、伝統の灯りを今に受け継ぐ「高澤ろうそく店」など、数多くの店舗が営業を再開しています。新店舗を構えた人気焼き鳥店「鶏とまっば」など、通りにはランチやディナーを楽しめる飲食店も豊富です。

一本杉通り
七尾市一本杉町



歴史ある
商いと暮らしの街！

い一本杉通りは、能登街道（内浦街道）沿いに整備された商人の町です。1616（元和2）年の『所口町絵図』にすでにその名が記され、400年以上前から交通の要衝として多くの旅人が行き交いました。今も歴史ある通りは七尾を代表する観光スポットで、約450メートルの石畳の商店街には和ろうそくや醤油店、飲食店など、多種多様な魅力が詰まっています。通りを散策した後は、七尾市中心部から20分ほど車を走らせ、藩政期から湯治客でにぎわった和倉温泉へ。七尾湾に面した和倉温泉は開湯1,200年で、無色透明の“海の温泉”は保湿や美肌などに効能があります。能登半島地震で大きな被害を受けた温泉街は新たな町づくりが進行中で、再開する宿も増えています。総湯（共同浴場）も朝7時から夜9時まで利用できるので、ドライブに疲れた際は立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



小丸山城址公園内には利家にちなんだ絵馬掛け処も設置。



七尾のまちを見渡す城址公園

加賀百万石の礎を築いた前田利家。国持大名としての一步を踏み出した小丸山城の跡地は、城址公園として整備されています。市民憩いの場となった園内には郷土の歩みを刻んだ石碑もいろいろ。能登が紡いできた歴史を感じられるスポットとなっています。

小丸山城址公園
七尾市馬出町子部1-1
TEL 0767-52-9266（希望の丘公園管理事務所）／Pあり

奥能登の酪農家が里山で育てた乳牛から絞った「能登ミルク」は、昔と変わらない自然の味。そんなこだわりミルクを使ったジェラートが、和倉温泉で人気を呼んでいます。地元で獲れたフルーツや揚げ浜式の塩など、能登ならではのスイーツはどれもおすすめです。

能登ミルク
七尾市和倉町ワ3-6
TEL 0767-62-2077／Pあり

城下町として栄えた七尾で 歴史・文化&温泉を堪能

シリーズ特集

「みちが生むにぎわいを訪ねる旅」4

Discover the Charm of the Historic Kaido Roads

能登街道をめぐる

Nanao
七尾市

新旧の魅力が重なる
石畳の美しい一本杉通り

能登街道をめぐるドライブで最初の目的地に選んだのは、能登の政治・経済の中心として栄えた七尾市です。現在の七尾市街地は江戸時代、「所口」と呼ばれており、往時のにぎわいの基盤を築いたのは加賀藩祖・前田利家です。1581（天正9）年に織田信長から能登国を与えられた利家は小丸山城を築城。城を中心に計画的な町づくりに力を注ぎました。現在は小丸山城址公園として整備され、桜やツツジの名所として親しまれています。園内には利家と妻・まつ像があり、力を合わせ、戦国の世を駆け抜けたおしどり夫婦の物語に思いをはせることができます。

小丸山城址公園にほど近



七尾湾に面した和倉温泉は、ナトリウム・カルシウム・塩化物物の「海の温泉」です。そんなお湯を銭湯感覚で楽しめるのが「和倉温泉総湯」。入浴料は大人500円で、大浴槽や露天風呂、サウナも備わっています。ゆっくり、のんびりと源泉の温もりを楽しめます。

和倉温泉総湯
七尾市和倉町ワ6-2 TEL 0767-62-2221／Pあり



自然育むミルクを
ジェラートで



ぎしぎしうなる
「でか山」は
迫力満点



能登の祭りに響く



地震の影響で2024年は開催できませんでした。青柏祭ができることに感謝し、より一層、人と人のつながりを大切にしていきたいと思っています。

青柏祭で山保存会会長
丸岡 俊宏さん

せい は く さい
青柏祭

七尾市中心部 毎年5月3・4・5日

青柏祭は七尾に春を告げる祭りです。高さ12m、重さ20t、車輪だけでも直径2mある日本一の山車「でか山」を繰り出すのは、鍛冶町・府中町・魚町の3町。かつての城下町で同業者が集まってかたちづくられた町で、互いに財力と心意気を競い合う中で、山車はどんどん大型化していったと言われていいます。細い路地で90度方向転換させる「大挺子・辻廻し」や、民家の屋根すれすれに走り抜ける様子はまさに圧巻です。3台のでか山が勇壮に練り歩き、五穀豊穡を祈ります。山車を曳くのは、誰でも飛び入り参加OK。ぜひ体感してみてください。



いっさきほうとうまつり

石崎奉燈祭

七尾市石崎町 毎年8月第1土曜

漁師町・七尾市石崎町の海の男たちが担ぐのは、高さ12m超、重さ約2tの巨大な奉燈です。豊漁を祈願し、「サッカサイ、サカサッサイ、イヤサカサー」と威勢の良い掛け声を響かせながら町内を練り歩きます。全6基の奉燈がそろって乱舞競演は見ごたえ抜群です。



くまかぶとまつり

お熊甲祭

七尾市中島町 毎年9月20日

七尾市中島町で受け継がれてきた祭りでひとときわ目を引くのは、高さ20mに達する大旗です。天狗面をつけた猿田彦が先導し、神社を目指します。大幟旗を地面すれすれまで下げる「島田くずし」の大技が披露されると祭りは最高潮を迎えます。

〇お問い合わせ (一社)ななお・なかのとDMO TEL 0767-62-0900



穏やかな海に立つ
伝統漁法の足跡

ボラ待ち漁に使われたやぐらが立つ穴水の里海。自然と共生する地域の歴史を今に伝えています。
ボラ待ちやぐら
穴水町比良地内
(中居ふれあいパーク)



海沿いを
のんびりドライブ！

港町の風情を肌で感じながら 波穏やかな海岸線をドライブ



石川県は3人の横綱を生んだ土地。その一人が1828(文政11)年に第6代横綱となった阿武松緑之助(おうのまつみどりのすけ)です。出身地の能登町七見には、高さ4.5m、幅2.4mの顕彰碑がたっています。
第6代横綱阿武松緑之助碑
能登町七見



宿場町の面影がまちなかに残る

港町であり、街道の宿場だった能登町宇出津地区。藩政期から多くの人が行き来した町の中心部には、立ち寄ってほしいお店がそろっています。例えば、1908(明治41)年創業の「ふくべ鍛冶」は、アイヌ愛用の短剣をルーツとし、北前船で能登に伝わった能登マキリを伝承。伝統の技でナイフや包丁などを造り続けています。また、「DOYA COFFEE」は、仲間同士で声をかけ合う「どーや」が店名の由来。おいしいコーヒーが癒やしのひとときを演出します。

能登町宇出津新町通り商店街
能登町宇出津新



絵図に描かれた景勝地

大小の入江からなる九十九湾(つくもわん)、穏やかに湾曲した砂浜の恋路海岸など、能登町には美しい景観スポットがたくさんあります。高倉漁港近くから望む姫弁天島もその一つ。能登街道の名所を描いた絵図に登場するなど、時代を超えて旅人たちの目を楽しませています。

姫弁天島
能登町姫

宿場町の散策を楽しみ、 話題の新スポットへ

和倉温泉から海岸沿いの能登街道(内浦街道)を進みます。ドライブコースとしては国道249号を北上して鳳珠郡穴水町・能登町へ。波穏やかな七尾湾を眺めながら走るルートには、里海や港町の魅力を、いくつも見つけることができます。その一つが穴水町の「ボラ待ちやぐら」です。丸太を四角錐に組んだやぐらの上から見張り、ボラ(魚の一種)の群れが来たら網でたぐる穴水伝統のボラ待ち漁に用いられました。この素朴な漁は江戸時代発祥と伝わり、最盛期には町内に40基ものやぐらが立っていたのだとか。現在は町内2カ所(中居ふれあいパーク、根木ポケットパーク)で再建されており、のどかな里海の光景に心が癒やされます。さらに車を走らせた先にある能登町



伝統の鍛冶技術を受け継ぐ



おいしい1杯、どーや

穴水町 能登町

シリーズ特集
「**みちが生むにぎわいを訪ねる旅**」
Discover the Charm of the Historic Kaido Roads
能登街道をめぐる

宇出津では、街道の面影を色濃く感じられます。天然の良港としてにぎわった港町は、内浦街道の宿場町の一つ。町内を散策すれば、町家が並ぶ細い路地があり、かつてのにぎわいを思い浮かべることができます。エリア内には明治期創業の酒造や鍛冶屋など、時代を超えて愛されるお店も少なくありません。能登町にはほかにも漁港が数多く、とりわけ小木港は日本三大イカ釣り漁港に数えられています。そんな地域の魅力に触れられる話題のスポットが「イカの駅つくモール」です。獲れたてのイカを船内で急速冷凍し、鮮度とおいしさを保った船凍イカを使ったグルメやおみやげがずらり。巨大なイカのモニュメント「イカキング」は撮影スポットとして人気です。



船凍イカも
購入できます！



イカづくしの観光拠点

「イカの駅つくモール」には、イカ料理が楽しめるレストランがあり、地元のお土産も豊富にそろいます。遊覧船やマリンレジャー体験もできる能登町観光の拠点の一つです。

イカの駅つくモール
能登町宇越坂18字18-1
TEL 0768-74-1399/Pあり



イカグルメが
盛り沢山！

あばれ祭

能登町宇出津 毎年7月第1金・土曜

宇出津祭礼委員会が発行するカレンダーは、少し変わっています。7月から始まり、日付の下に翌年のあばれ祭へのカウントダウンが示されています。1年の中心があばれ祭となるほど、地元の人たちは開催を楽しみにしています。350年以上前、京都の八坂神社から素戔嗚尊を勧請し、疫病を治めたことが起源のあばれ祭は、各町内から大小40基のキリコが練り出します。1日目は大松明の周りを火の粉を受けながらキリコが乱舞し、2日目は道中で道路に神輿をたたきつけたり、川や火の中に投げ込んだりと、神様がお喜びになるよう大暴れするのが見どころです。

祭りを見てもらえれば、災害に負けない能登の力強さを感じてもらえるはず。あばれ祭は観客も参加できます。祭りの熱気を肌で感じてください。



宇出津八坂神社奉賛会の皆さん



最高潮は
夏の目差し
輝く海で

沖波大漁祭り 穴水町沖波 毎年8月14・15日

夜間に見どころの多いキリコ祭りの中で、沖波大漁祭りが最高潮を迎えるのは2日目の日中です。しかも、舞台は海。沖波大漁太鼓が打ち鳴らされる中、担ぎ手が胸まで海に浸かりながら海の中を乱舞します。水しぶきを上げながら、豪快に暴れ回る漁師町ならではの祭りです。

〇お問い合わせ 【あばれ祭・にわか祭】能登町ふるさと振興課 TEL 0768-62-8526 【沖波大漁祭り】穴水町観光交流課 TEL 0768-52-3790

大小合わせて 40基の キリコが乱舞



武者絵の
袖キリコを
夜通し曳き回す

にわか祭 能登町鶴川 毎年8月第4土曜

能登町鶴川地区のにわか祭は、能登街道で半島を巡行した加賀藩13代藩主・前田斉泰が訪れた際、にわか作りで組み立てた袖キリコを披露したのが起源とされています。豊漁と海上安全を祈願し、武者絵を描いた袖キリコが町内を練り歩く勇壮な祭りで、熱狂は明け方近くまで続きます。

自然の脅威を物語る
能登のシンボル



見附島は、能登半島地震の脅威を伝える象徴にもなっています。

見附島
珠州市宝立町鶴飼／Pあり



能登街道随一の難所
輪島市曾々木・珠州市真浦間は街道随一の難所。安全に通行できるよう、道を切り開いた麒麟山(きざん)和尚が建てた石仏が残っています。
麒麟和尚石仏
輪島市町野町／Pあり

シリーズ特集
みちが生むにぎわいを訪ねる旅④
Discover the Charm of the Historic Kaido Roads
能登街道をめぐる

輪島市
Suzu Wajima

半島先端を回って外浦へ
自然美と伝統美にふれる



人情あふれる朝市を再開

奈良時代後期か平安時代初めに始まったとされる輪島朝市。現在は市内のショッピングセンターで開催しており、能登産の海産物を中心に、野菜や輪島塗など、多彩なお店が並んでいます。笑顔がすてきなお店の人たちとの交流も楽しみの一つ。1軒1軒回って、お気に入りを探してみましょう。

出張輪島朝市inワイブラザ輪島店
輪島市宅田町41
TEL 080-3740-2455(輪島朝市を応援する会事務局)／Pあり



江戸中期創業の地酒蔵

七尾城主・畠山義春の子孫、宗玄忠五郎が1768(明和5)年に創業した酒蔵。日本四大杜氏に数えられる能登杜氏発祥の蔵とも言われ、能登流の酒造りを大切にしながら、宗玄ならではの地酒を追求し続けています。

宗玄酒造
珠州市宝立町宗玄24-22
TEL 0768-84-1314／Pあり



塩ミルクソフトクリームも！



揚げ浜式製塩にふれる

珠洲市外浦海岸で脈々と受け継がれてきた揚げ浜式製塩のお土産を購入したり、歴史にふれたりしたいならば、道の駅「すず塩田村」へ。塩田村オリジナル商品も多彩にそろっています。

道の駅 すず塩田村
珠州市清水町1-58-1
TEL 0768-87-2040／Pあり



珠洲・輪島間は緊急復旧道路で通行可能！

た海の恵みは、ほのかに感じる甘みが特徴。珠洲市内の外浦海岸には今でも伝統的な製法を守る塩田が点在しており、最盛期となる夏場は塩作りに励む様子を見ることができます。そして、車は珠洲市から輪島市へ。港町ならではの旬の魚介や堅牢優美な輪島塗など、輪島自慢の幸と逸品に出合いたいならば、輪島朝市に足を運んでみましょう。地震からの復興過程にあり、かつて市を構えていた朝市通りでの出店はまだ先になりますが、現在はショッピングセンター「ワイブラザ輪島店」で9時～13時まで出張朝市を開催(水曜定休)。人情味あふれる朝市では、能登の人たちとのふれあいも楽しみの一つです。もちろん、ここで紹介した能登の魅力はほんの一部。外浦街道を中心に、ゆったりと回るプランもおすすめです。



能登を代表する伝統工芸「輪島塗」。124もの工程を経て完成する漆器は唯一無二の輝きを放っています。輪島工房長屋は、工房見学や製作体験などを通して輪島塗の魅力に迫る体験施設です。My箸づくり体験(1膳2,000円)が人気で、自分だけのオリジナルの箸を製作できます。

輪島工房長屋
輪島市河井町4-66-1
TEL 0768-23-0011／Pなし
水曜定休(お問い合わせください)



輪島塗の世界を堪能

スタッフが丁寧に教えてくれるよ！



総輪島塗のキリコが練り歩く



撮影／吉岡栄一



祭り唄にのせ
燈籠山が巡行

飯田町燈籠山祭り 珠州市飯田町 毎年7月20・21日

珠洲市中心部、飯田町にある春日神社の夏季例祭は絢爛豪華な燈籠山が祭りの華。高さ約16m、重さ約5tの巨大な曳山が、てっぺんに掲げた約6mの人形を左右に大きく揺らしながら町中を巡行します。「きゃーらげ」と呼ぶ祭り唄は郷愁を誘い、祭りの情緒をさらに高めます。



力強い御陣乗太鼓が心震わす

名舟大祭 輪島市名舟町 8月1日夕方 ※2026年

名舟大祭では、本祭り(神事)と奇怪な面を付けて打ち鳴らす「御陣乗太鼓」を実施します。御陣乗太鼓は、戦国時代に能登に攻め入った上杉謙信の軍勢を追ひ払ったことが始まり。名舟町に受け継がれてきた奉納打ちは迫力満点の音が胸に響き、見る人の心を揺さぶります。

輪島大祭

輪島市中心部 毎年8月22・23・24・25日

輪島大祭は、輪島市中心部の4地区でおこなわれる夏祭りの総称です。重蔵神社の祭礼は毎年8月23日。20基ほどの総輪島塗の豪華なキリコが、太鼓や鉦の音に合わせて走ったり、回ったりと躍動感あふれる動きで町内を巡行します。今年からは地震の影響で中止していた高さ8mほどの大松明も復活させる予定で、こちらもぜひご覧いただきたいと思います。輪島大祭といっても、地域によって趣や雰囲気は大きく異なります。各町の違いを比べてみるのもおすすめです。ふるさとに夏の終わりを告げる4日間を体感してください。
※2026年6月現在、キリコの巡行を検討中の地域もあり、例年通りの内容と異なる場合があります。ご了承ください。

綿々と受け継ぐ祭りは、能登の人にとって変わらない宝物。一方、地震で変わってしまった景色もあります。ありのままの能登の今を実感してもらえればと思います。

重蔵神社 禰宜の
能門 亜由子さん





01 北陸のハワイと称される美しい無人島ビーチ

「水島」は敦賀半島の先端に浮かぶ小さな無人島。透明度の高い海と白い砂浜が特徴で、北陸のハワイとも呼ばれています。毎年海水浴シーズンには渡し舟が運行され、多くの人が海水浴に訪れる人気スポットです。海水浴以外にもシュノーケリングや貝殻拾いなどの磯遊びも楽しめます。

水島

○福井県敦賀市色ヶ浜〔北陸自動車道 敦賀ICより車で約35分〕
☎0770-22-8167(港都つるが観光協会) ④渡し舟の運行期間:7月上旬～8月下旬
⑤乗船料:大人1,600円・子ども(小学生)750円 ※料金は予定

02 世界の花はす約130種類が咲き乱れる鑑賞蓮園

南越前町にある蓮を専門にした鑑賞蓮園。園内には世界の花はす約130種類が植えられており、蓮池一面に花が咲き乱れる光景は圧巻です。蓮池以外にも芝生広場や遊具、展望台も整備されています。隣接する温泉宿「花はす温泉そまやま」ではす会席も味わえます。

花はす公園

○福井県南越前町中小屋64-41
〔北陸自動車道 南条スマートICより車で約5分〕
☎0778-47-8002(南越前町観光まちづくり課)
④入園自由 ⑤200円(清掃協力金・はすまつり期間のみ)



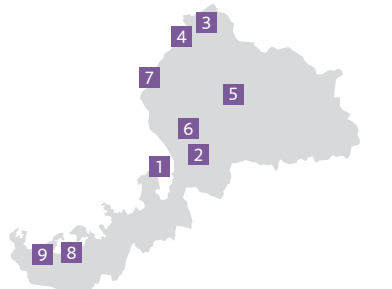
03

みて・ふれて・楽しく学べる水族館

景勝地・東尋坊にほど近い越前加賀海岸国定公園内にある「越前松島水族館」は「みて・ふれて・楽しく学べる」がテーマの体験型水族館です。大迫力のイルカショーやかわいいペンギンたちの散歩が名物で、館内では海の生物たちにふれたり、餌やり体験をしたりすることもできます。コンパクトながらも子どもから大人まで一日中楽しめる水族館です。

越前松島水族館

○福井県坂井市三国町崎74-2-3〔北陸自動車道 金津ICより車で約20分〕
☎0776-81-2700
④通常は9:00～17:30 ※季節変動あり。詳しくはHPをご覧ください。
⑤年中無休 ⑥大人2,200円・小中学生1,200円・幼児(3歳以上)600円・幼児(3歳未満)無料



04

三国の夏の夜を彩る豪華絢爛な花火

福井県坂井市の三国サンセットビーチと九頭竜川ポートパークで開催される花火。二尺玉の特大花火やスターマインなどの豪華花火が夏の夜空を美しく彩ります。中でも目玉である「水中二尺玉」は大迫力で見応え抜群。名物のグランドフィナーレ「錦冠ワイドスターマイン」は会場全体が歓声に包まれる圧巻の演出です。バリエーション豊かな花火約15,000発が打ち上がります。

三国花火

○三国サンセットビーチ(福井県坂井市三国町宿米ヶ脇)
○九頭竜川ポートパーク(福井県坂井市三国町新保)
〔北陸自動車道 金津ICより車で約30分〕
☎0776-50-3152(三国花火実行委員会事務局)
⑤8月11日(火・祝) 打上時間19:30～20:30
※雨天実施・荒天の場合12日に順延



きて!みて!よかった!!
大本山 永平寺 御用達

羽二重餅の故里

〒910-1121 福井県吉田郡永平寺町松岡吉野35-21-1
予約 TEL **0776-61-2100**

HP <http://www.maedaseika.co.jp> ④ AM8:00～PM5:00 ⑤ 年中無休 ⑥ 福井北I.Cより2分、JR福井駅より20分

真珠のような優雅な光沢、滑らかな口どけ、そのままだに用ひの感動が得られ魅力的な格調高い美しさを兼ねそなえたお菓子です。

マエダセイカ株式会社

おトクに楽しむ、いいコトめぐり

速旅 高速道路周遊パスで **お得** にドライブ

平日も使える **お得** な 高速道路周遊パス

定額料金でエリア内乗り放題

福井県内の駅レンタカー営業所

福井県エリアのプランはこちら

新幹線をご利用の方は駅レンタカー

JRグループのレンタカーだから駅チカ営業所でスグに乗れる!!
ぜひ駅レンタカーをご利用下さい。

HPで予約はこちら

○駅レンタカー 芦原温泉営業所(オリックスレンタカー内)
○駅レンタカー 福井営業所
○駅レンタカー 越前たけふ営業所(ニッポンレンタカー内)
○駅レンタカー 敦賀営業所(オリックスレンタカー内)



05

戦国大名朝倉氏の権力と栄華を学べる歴史博物館

戦国時代に栄華を極めた朝倉氏の一乗谷に残る遺跡の価値と魅力を発信する拠点として2022年10月に開館した施設。展示室では国指定重要文化財を多数含む約800点の出土資料を展示。歴史資料や一乗谷の赤色立体地図・城下町ジオラマなどもあり、当時の城下町の構造をわかりやすく展示。遺跡と朝倉氏の歴史について楽しく学べる博物館です。

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館

○福井県福井市安波賀中島町8-10[北陸自動車道 福井ICより車で約10分]
☎0776-41-7700 ⑨9:00～17:00(入館は16:30まで) ⑩月曜・年末年始
※月曜が祝日の場合は翌日、その他臨時休館あり。博物館HPでご確認ください。
⑪基本展示 一般700円、高校生400円、小中学生200円、70歳以上350円※特別展は別途観覧料が必要。

「06」一面に広がる美しいひまわり畑

越前町の朝日地区で楽しめるひまわり畑。一面に広がるひまわりの姿は圧巻で、毎年多くの人が訪れています。例年見頃は7月下旬～8月中旬頃で、晴天の日は青空と黄色い花のコントラストがとてもよく映えます。朝の時間帯は光が柔らかく、人も少ないのでおすすめです。

越前町朝日のひまわり畑

○福井県丹生郡越前町上川去(越前町営野球場近く)
[北陸自動車道 鯖江ICより車で約20分]
☎0778-37-1234(越前町観光連盟)
②あり(越前町営野球場／福井県丹生郡越前町上川去11-1-1)
注意事項:個人所有の畑となっておりますので、畑内への立ち入りは必ず管理者の許可を得てください。また、近隣住民の方々へのご迷惑となるため、路上駐車はご遠慮ください。



2026年
6月12日(金)・1月31日(日)

2027年
実施期間

福井県で使える電子クーポン
ふくいハピコイン
3,000円
分が付いて
お得!!

ふくいハピコイン
はぴコイン付
ドライブプラン

速旅
はやたび

ETC 限定
普通車・軽自動車等

ウェブサイトによる
事前申込制

2日間乗り放題で
40%OFF!!

福井県内を含む
周遊エリアの
高速道路が
ご利用方法により、
お得!!

詳しい内容・
お申し込みは
こちら

※A<発着なし>福井県周遊プラン2日間を普通車でご利用の場合



07

越前海岸を一望できる 人気のビーチカフェ

180度オーシャンビューの越前海岸が一望できるオープンカフェ。海へと続くウッドデッキや芝生の開放的なロケーションが人気です。SNS映えするドリンクとスイーツ、そしてローストビーフ丼や牛すじカレーなどお食事メニューも充実。ペットと一緒に過ごせるテラス席や2nd MAREも大好評です。

cafe MARE

○福井県福井市大丹生町70-3
[北陸自動車道 金津ICより車で約50分]
☎0776-88-2323
⑩10:00～日没まで
⑪年中無休



若狭の海を眺めながら 食事や買い物を楽しんで

「魚と旅するマーケットUMIKARA」内にある食堂。若狭湾の新鮮な魚介類や地元野菜を使用したメニューが味わえます。人気メニューは季節の魚の漬け丼で、その他海鮮系メニューも豊富。併設のマーケットで買った魚をこちらの食堂で味わうこともできます。へしこの味が楽しめるソフトクリームや地元の人気店「Caféアン・ヴェルヴ」とのコラボケーキなどスイーツも充実。

うみから食堂

○福井県大飯郡高浜町塩土5-1 UMIKARA内
[舞鶴若狭自動車道 小浜西ICより車で約20分]
☎0770-72-3528(代表) ⑩ランチ10:00～15:30、土日のみディナー営業
18:00～22:00(21:30L.O.) ⑪12月31日・1月1日



小浜の夏の風物詩 くずまんじゅう

若狭小浜の名水「雲城水」を使用した和菓子づくりをしている「伊勢屋」。同店の看板商品「くずまんじゅう」は若狭の葛を使用しており、湧水で冷やして製造しています。透き通った見た目がとても涼しげで、ぶるん・つるんとしたのど越しと中のこしあんの上品な甘さが特徴です。

御菓子処 伊勢屋

○福井県小浜市一番町1-6
[舞鶴若狭自動車道 小浜ICより車で約6分]
☎0770-52-0766 ⑨8:30～17:30
⑩水曜

08